

2025 年 8 月 20 日

各位

株式会社スカパー J S A T ホールディングス
代表取締役社長 米倉 英一
(コード番号：9412 東証プライム市場)
広報IR部長 李 栄信
TEL 03 (5571) 1500

スカパー J S A T、JAXA 宇宙戦略基金の
「衛星量子暗号通信技術の開発・実証」へ参画
衛星管制システムの設計検討などを担当

株式会社スカパー J S A T ホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：米倉英一）は、連結子会社であるスカパー J S A T 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：米倉英一）が、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（「JAXA」）の宇宙戦略基金事業「衛星量子暗号通信技術の開発・実証」に、国立研究開発法人情報通信研究機構（「^{エヌアイシーティ}NICT」）とともに参画することをお知らせします。

以上

<お問い合わせ先>

株式会社スカパー J S A T ホールディングス／スカパー J S A T 株式会社 広報IR部
TEL：03-5571-1500（IR担当）／03-5571-7600（広報担当） E-mail:pr@sptvjsat.com

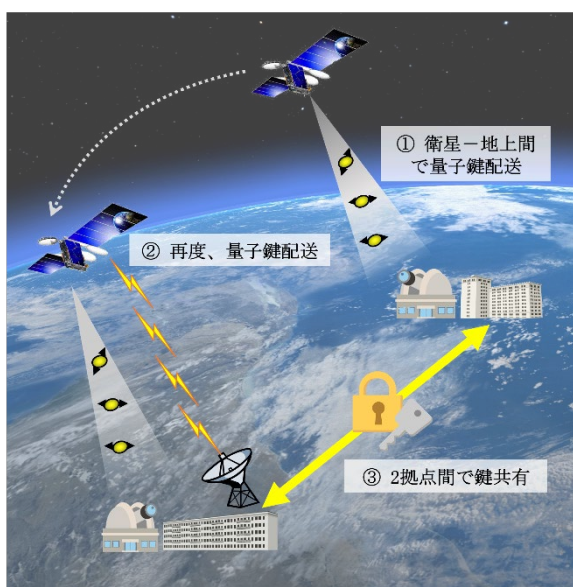
2025 年 8 月 20 日

スカパー J S A T 株式会社

スカパー J S A T、JAXA 宇宙戦略基金の 「衛星量子暗号通信技術の開発・実証」へ参画 衛星管制システムの設計検討などを担当

スカパー J S A T 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：米倉 英一、以下「スカパー J S A T」）は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」）の宇宙戦略基金事業「衛星量子暗号通信技術の開発・実証」^{*1}（以下「本研究開発」）に、国立研究開発法人情報通信研究機構（以下「^{エヌアイシーティー}NICT」）とともに参画することをお知らせします。

スカパー J S A T は、関連業務のうち、衛星管制システムの設計検討や打ち上げ候補機の検討などを担当します。



<衛星量子鍵配送イメージ>

量子コンピュータ技術の発展により、通常のインターネット通信において厳格に秘匿すべき機密情報が将来的に解読されるリスクが高まっています。機密情報を安心・安全に取り交わすためには、今後いかなるコンピュータ技術が開発されても解読が不可能な量子暗号通信技術を活用し、広域にわたる量子鍵配送・量子暗号ネットワークを構築し、極めて堅牢性の高いセキュアなサイバー空間を実現することが求められています^{*2}。この量子鍵配送に、宇宙空間にある衛星を介することで、光ファイバーと比較して長距離・移動体に対して鍵配送することが可能となり、高い安全性・耐災害性が期待できます。

研究代表機関として採択された NICT では、「衛星量子暗号通信技術の開発・実証における情報理論的に安全な鍵共有を可能とする小型・低軌道衛星の研究開発」に取り組む予定です。スカパー J S A T は今回の選定を受け、35 年以上にわたる静止軌道衛星の管制業務によって蓄積した衛星運用ノウハウや衛星量子鍵配送実現に向けた過去の研究開発案件などへ参画してきた経験を活かし、NICT と連携しながら本研究開発を推進するとともに、事業化の検討を進めます。

今後の宇宙産業の中で特に利用拡大が見込まれるデータ通信分野では、さらなるセキュリティレベルの向上が求められています。スカパー J S A T は、本研究開発への参画を含め、人工衛星による量子暗号通信網の構築に引き続き積極的に取り組んでいきます。これにより、場所や時間を問わず、機密情報を安心・安全にやり取りすることのできる社会の実現に貢献してまいります。

^{*1*} 衛星量子暗号通信技術の開発・実証: JAXA 宇宙戦略基金公式ホームページ <https://fund.jaxa.jp/techlist/theme10/>